

# レアアース問題について

2011. 6. 3

福田 一徳

# 本日本話しする内容

1. 世の中で言われている「レアアース問題」
2. 政府が実施している対策
3. レアアース問題の本当の難しさ
4. 対策における重要なポイント

# 1. 世の中で言われている「レアアース問題」

- レアアースは、日本の「得意種目」に必須の原料  
(ハイブリッド自動車用の高性能磁石、液晶パネル用の精密研磨剤など)
- ところが、生産は中国がほぼ独占  
(中国の世界シェアは約97%)
- 中国は輸出規制を強化 ⇒ 供給障害発生リスク大

## 2. 政府が実施している対策

- 「レアアース総合対策」(2010年10月発表)  
⇒ FY22補正予算(1,000億円)で、以下を実施
  - ① 代替材料・使用量低減技術開発
  - ② リサイクル推進
  - ③ レアアース等利用産業の高度化
  - ④ 鉱山開発・権益確保／供給確保

### 3. レアアース問題の本当の難しさ

- 「バランス産品」であること
- 重希土類を産出する鉱床が少ないこと
- 市場規模が小さく、需要見通しを立てづらいこと
- 中国が強烈な市場支配力を持っていること など  
(独占の強み、生産コストの安さ、中間プロセスの保有)

## 4. 対策における重要なポイント

- 長期安定的な鉱山開発へのコミットメント
  - ・ユーザーと一体となって、鉱山を「買い支える」
- 新規用途開発(特に軽希土類)
  - ・元素間の需要バランスの維持 → 鉱山などの採算性確保
- 代替材料開発・使用量低減技術開発の促進
  - ・重希土類に重点を置く
- 備蓄の実施
  - ・市場にインパクトを与えられる規模を持ち、機動的に売買する